

水道管の寒波対策についてのお知らせ！

寒さは水道管の大敵です
水道管が凍結しないよう、寒波対策をしましょう

気温が氷点下4度（風の強い所は氷点下1～2度）以下になると水道管が凍結しやすくなります。

また、屋外で、北側の日が当たらない場所、風当たりの強いところ、むき出しになっている水道管などは特に注意が必要です。

宅地内の水道管（給水管）はお客様個人の所有であるため、破損してしまうとお客様（所有者）が修理費用を負担しなければなりません。



◇ 特に凍結しやすい場所

- ◆ 外で「むき出し」になっている
- ◆ 北向きで、日陰にある
- ◆ 風当たりが強い場所



◇ 凍結防止の方法 !!

- ・ 蛇口から水を割り箸1本くらいの太さ程度で出しておくのが凍結の防止に有効です。

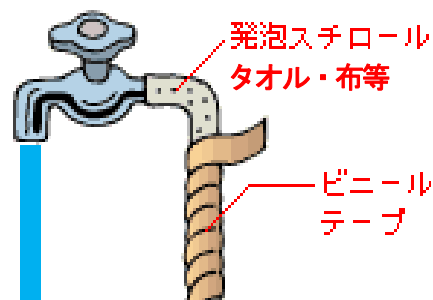
出した分の水については、料金がかかりますので出し過ぎにはご注意ください。

水はお風呂の浴槽やバケツなどに溜めるようにして、有効活用しましょう。

- ・ 市販の水道管用の保温材や、タオル・毛布・布きれ・発泡スチロールなどで水道管を覆い、濡れないようにその上からビニールテープを巻きましょう。

（市販の水道管用保温材はホームセンターなどで販売しています。）

- ・ 温水器や給湯器の水抜きなど凍結防止対策をしましょう。詳しくは、購入事業者またはメーカーにお問い合わせください。



メーターボックスに保温材を入れましょう！

- ・ 保温材（発泡スチロール等）を細かく砕いて濡れないようにビニール袋に入れ、メーターを覆うように詰めましょう。

（メーター検針が容易に出来るようにしてください）



◇ 水道管が凍ってしまったら

- ・ 凍ってしまった部分に、タオルや布などをかぶせて、その上からゆっくりと「ぬるま湯」をかけてください。なお、蛇口を開けてもすぐに水が出ない場合がありますが、そのような場合でも、蛇口は開けたままにせず、必ず閉め、自然に溶けるのを待ってください。

※熱湯を急にかけると、水道管や蛇口が破裂することがありますので、ご注意ください。

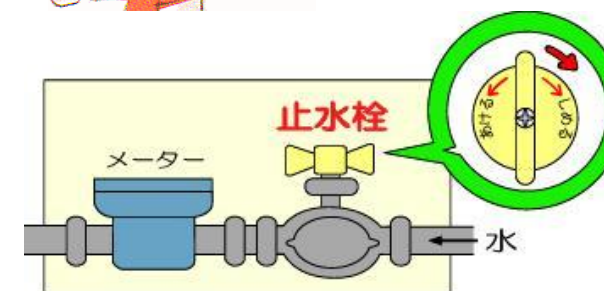


◇ 水道管が破裂したら

もしも水道管が破裂してしまった時は、まず、メーターボックスの中の止水栓を閉めて、漏水を止めてください。

次に、破裂した部分をテープなどでしっかりと止めて応急処置をし、直ちに『豊前市指定給水装置工事事業者』に修理を依頼してください。

凍結事故の修理代は、お客様のご負担になります。修理費用は工事の内容によって異なりますので、詳しくは修理を依頼される下記の水道工事店などに直接お問い合わせください。



【 豊前市管工事協同組合加盟店 】

(有) 恵良工務店 Tel82-1696, (有) 中井設備 Tel82-3711, (有) 小路設備工業 Tel83-3075

(有) 太田総合設備 Tel83-2510, (有) 山崎工務店 Tel83-2839, (株) 下畑電設工業 Tel82-8705

(株) しげもり豊前支店 Tel82-1078, 拓水設備 Tel82-4546

冬の間長期留守される方、空き家・空き部屋をお持ちの方へ

空き家・空き部屋をお持ちの場合、また旅行などで長期にわたって留守の場合、蛇口の立ち上がりや温水器等が凍結し破裂する恐れがあります。凍結防止を心がけましょう。

また、長期留守の場合は、水道お客様センターに「閉栓(使用中止)届」を提出してください。

凍結による破裂が生じた漏水の場合、長期にわたって誰にも気付かれず流している状態になり水道料金が高額となることはもちろんのこと、修理費はお客様ご自身のご負担となりますので、『豊前市指定給水装置工事事業者』へ費用の確認をおこなってください。

不明点・お問い合わせについて

☆ 水道管の凍結などの不明点やお問い合わせは下記までご連絡ください。

豊前市役所 上下水道課
☎ 82-1111(代表)

豊前市水道お客様センター
☎ 64-6555